



「生活バスちばにう」 10年間の軌跡

—千葉ニュータウンの安くて身近な足を求めて—

2024年3月17日(日)

第11回 人と環境にやさしい交通を
めざす全国大会

於・信州大学繊維学部(長野県上田市)

NPO法人交通まちづくり戦略会議

前田 善弘

はじめに

『生活バスちばにう』とは？ （第9回前橋大会冒頭より）

- ・ 北総鉄道（北総線）の高運賃に悩む千葉ニュータウン（千葉県北部の印西市・白井市など）の新たな公共交通機関として誕生した、**住民発案型路線バス**
- ・ 運行担当：**鎌ヶ谷観光バス**（地元独立系バス事業者）
⇒ 貸切バス事業から路線バスに参入
鎌ヶ谷市コミュニティバス「ききょう号」の運行も受託
- ・ 地域住民で組織する「**生活バスちばにう友の会**」が、
利用促進活動などのサポートを行う

※以下、本発表では生活バスちばにうを「生活バス」
生活バスちばにう友の会を「友の会」と略記



はじめに

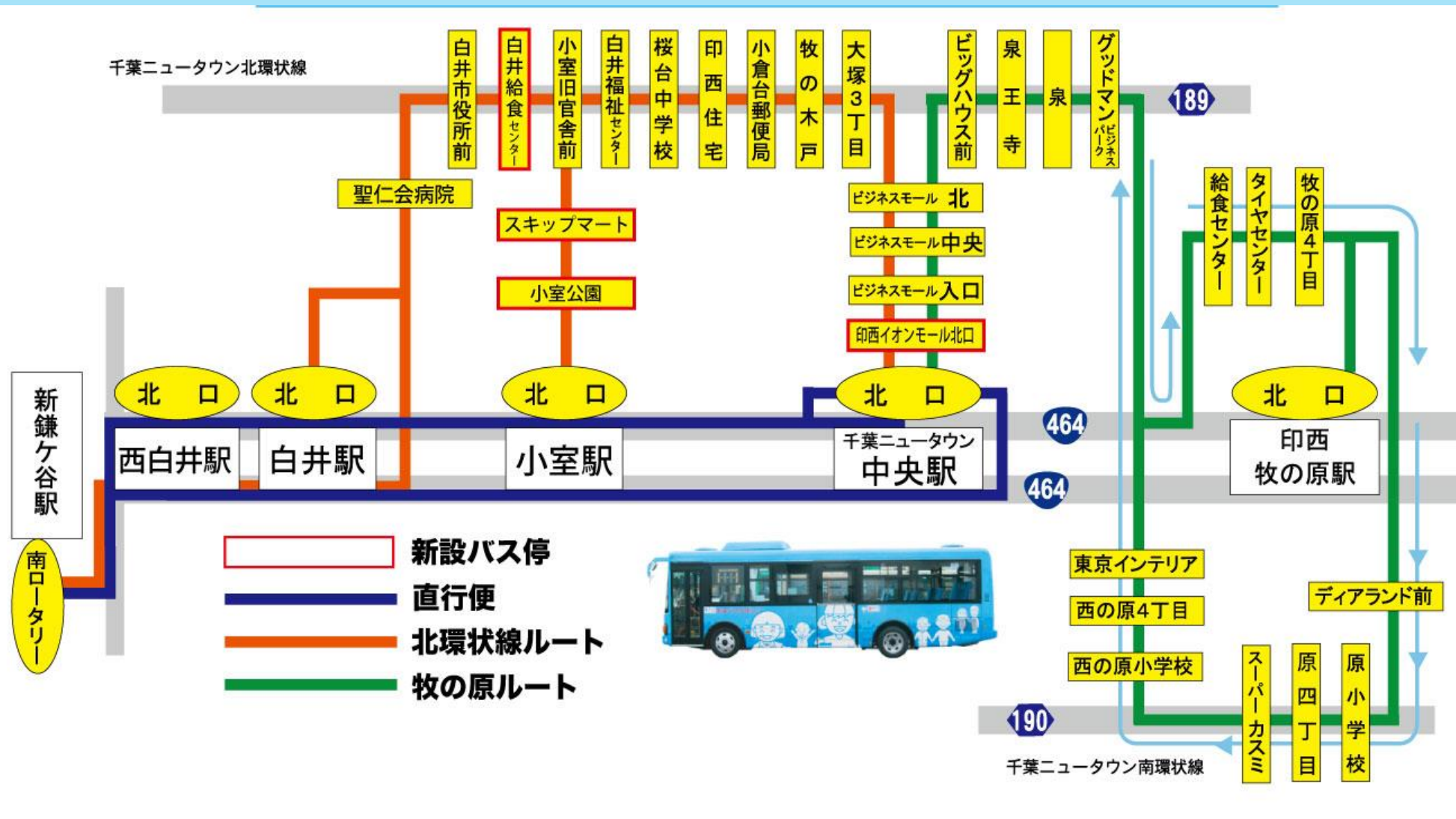
『生活バス ちばにう』の現在

- 「安くて身近な、地域に共感される路線バス」をコンセプトに、運行担当の鎌ヶ谷観光バスと「友の会」との協働で運行を継続
⇒2014年6月の開業から今年で10年目を迎える。



本稿の目的

- 前半5年間の歩みは既に第9回前橋大会（2019年）で発表
⇒今回はその後の5年間の歩みを中心に、コロナ禍以降の動向や課題、今後に向けた提言などに言及したい。
- 
- 
- 



▲「生活バスちばにう」の路線図

《出典》鎌ヶ谷観光バスホームページより (<https://kamagayakanko-bus.co.jp/chibaniu02/>)

新鎌ヶ谷駅にて



千葉ニュータウン中央駅にて



1. 路線・ダイヤの推移とその特徴

【表1】「生活バスちばにう」関連年表

年月日	事 項
2014.6.9	直行便：運行開始
2017.7.18	牧の原線・北環状線：運行開始
2019.9.21	北環状線：西白井駅に乗り入れ
2020.6.17	コロナ禍を受けクラウドファンディング実施（8月31日まで）
2020.7.20	ダイヤ改正
2020.9.1	運賃改定（初乗り100円→120円）
2022.9.1	ダイヤ改正、北環状線：小室駅に乗り入れ(一部)
2022.10.1	北総鉄道：運賃値下げ
2023.1.16	平日も日祝ダイヤに移行（直行便・牧の原線：休止）
2023.10.23	ちばレインボーバス：北環状線の並行路線から実質撤退



2014年6月9日 直行便運行開始の記念式典

2017年7月18日 北環状線・牧の原線 運行開始の記念式典

生活バスちばにう友の会
会員より提供



1. 路線・ダイヤの推移とその特徴

各路線の特色

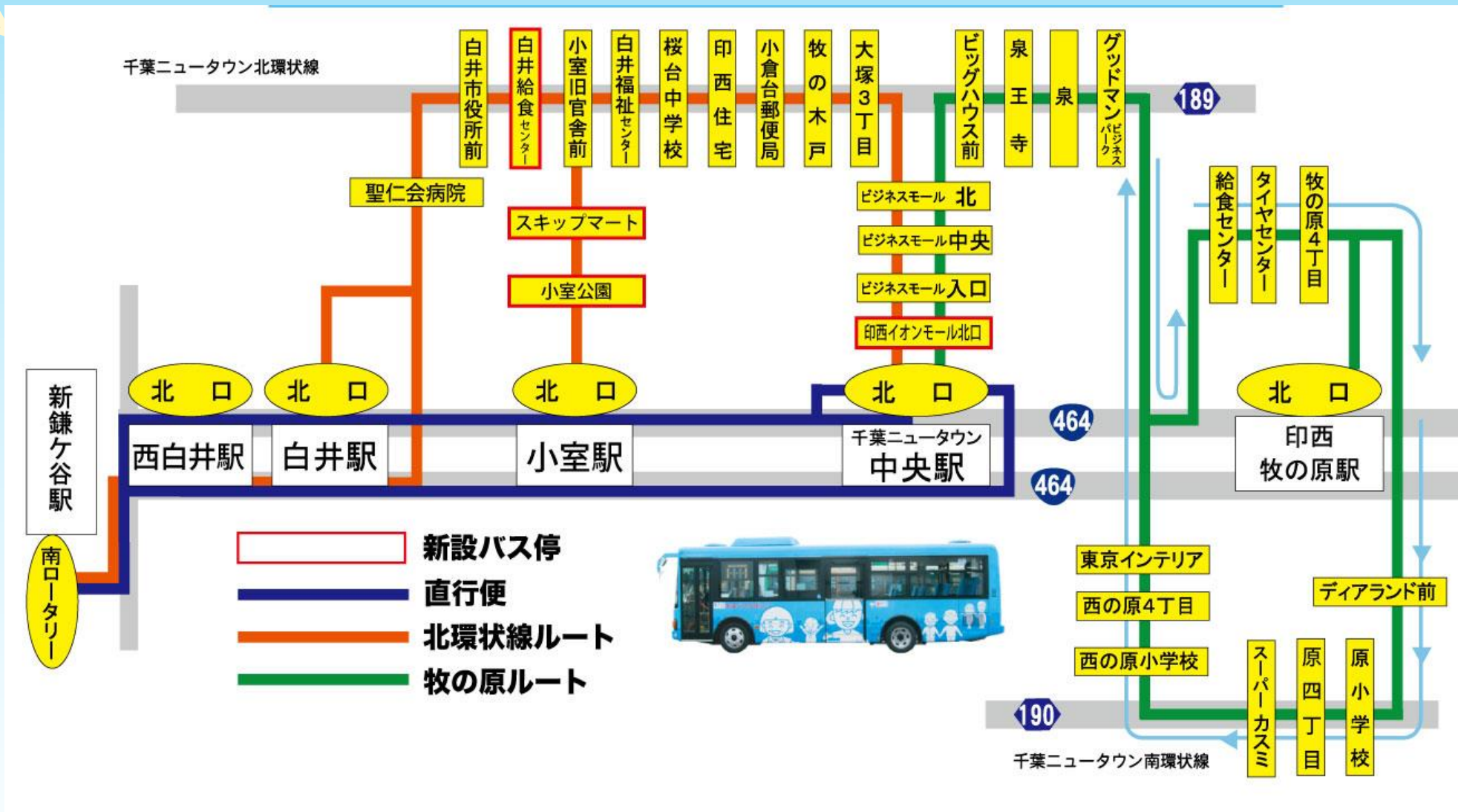
- **直行便**（最初に運行を開始）

沿線の鎌ヶ谷市・印西市の地域公共交通会議の承認で運行が実現
⇒途中停留所は認められず、並行する北総鉄道の主要駅
（新鎌ヶ谷・千葉NT中央）同士を直接結ぶルートとなる

- **牧の原線・北環状線**（2017年に運行を開始）

通常の乗合バスで申請・認可

⇒途中停留所をきめ細かく設置して、
ニュータウン内の広範な地域の期待に応える



▲「生活バスちばにう」の路線図

《図出典》鎌ヶ谷観光バスホームページより (<https://kamagayakanko-bus.co.jp/chibaniu02/>)

1. 路線・ダイヤの推移とその特徴

運行開始後の推移（1）

- ・ 直行便・牧の原線が段階的に縮小する代わりに、北環状線を主軸としたダイヤ編成にシフトする傾向

【直行便】

平日朝夕は北総鉄道の高運賃を敬遠する通勤・通学客の利用を取り込む効果があったものの、昼間等はむしろ途中停留所の便宜を図る方が得策との判断か？

【牧の原線】

当初目論んでいた沿線利用客が想定に比べて伸び悩む

1. 路線・ダイヤの推移とその特徴

【表2】便数の推移(単位:本、下り/上り)

年月日	直行便	牧の原線	北環状線	
	平日	* 平日	平日	土日祝
2017.7.18	22/24	15/15	9 / 9	9 / 9
2018.3.1	22/23	12/12	14/14	14/14
2020.7.20	9 / 12	5 / 5	19/18	13/13
2022.9.1	8 / 8	4 / 4	20/21	13/13
2023.1.16	—	—	13/13	13/13

* 牧の原線:2020年7月20日改正以前は
土日祝も運行(平日と同一ダイヤ)

1. 路線・ダイヤの推移とその特徴

運行開始後の推移（2）

【北環状線】

便数の充実とともに、西白井駅・小室駅への乗り入れや停留所の増設等のテコ入れも行われる。

※考えられる背景…① コロナ禍での乗客減
② 2022年の北総鉄道の値下げ
（北総鉄道との運賃の差が縮小）

生活バスの当初の強みだった「安さ」が後退する代わりに、
バス停が多くアクセスしやすい「身近さ」で補う



所要時間が多少長引いても、広範でこまめな集客に活路を見出す

1. 路線・ダイヤの推移とその特徴

【表3】北総鉄道との運賃比較(単位:円)

区間 (新鎌ヶ谷～)	2019.10.1時点		2022.10.1以降	
	生活 バス	北総 鉄道	生活 バス	北総 鉄道
西白井	100	310	150	280
白井	200	380	220	330
小室	250	450	270	380
千葉NT中央	300	580	330	480

2022年
10月
(10月1日予定)

運賃値下げ

を実施します

通学定期運賃を大幅に値下げ

千葉ニュータウン中央駅発着(例) 通学定期(1ヶ月)運賃

	現行	改定後	値下額
新鎌ヶ谷駅	10,760円	3,640円	▲7,120円
京成高砂駅	14,350円	4,850円	▲9,500円

新鎌ヶ谷駅発着(例) 通学定期(1ヶ月)運賃

	現行	改定後	値下額
東松戸駅	6,960円	2,390円	▲4,570円
京成高砂駅	10,760円	3,790円	▲6,970円

普通運賃について

- 初乗り 210円 ⇒ 190円
- 中距離帯を中心に最大100円(IC運賃105円)の値下げ

千葉ニュータウン中央駅発着(例) 普通運賃(10円単位)

	現行	改定後	値下額
新鎌ヶ谷駅	580円	480円	▲100円
京成高砂駅	780円	720円	▲60円

新鎌ヶ谷駅発着(例) 普通運賃(10円単位)

	現行	改定後	値下額
東松戸駅	380円	330円	▲50円
京成高砂駅	580円	480円	▲100円

- 普通運賃に連動した通勤定期運賃の値下げ
- 6ヶ月定期:最大25,490円の値下げ

京成高砂駅～新鎌ヶ谷駅間(例) 通勤定期運賃

	現行	改定後	値下額
1か月定期	24,880円	20,160円	▲4,720円
6か月定期	134,360円	108,870円	▲25,490円

各駅間運賃の詳細については、当社ホームページまたは駅係員にお問い合わせください。
北総鉄道ホームページ <https://www.hokuso-railway.co.jp>

おかげさまで創立50周年
これからも沿線の皆様の足として
走りつづけます

北総鉄道株式会社

西白井駅・小室駅乗り入れ開始時の 「友の会」の情宣活動



《写真出典》生活バスちばにう・
クラウドファンディングホームページより
(<https://camp-fire.jp/projects/view/296170>)

2. コロナ禍以降の動向と直面する課題

コロナ禍以降のわが国のバス業界

- 外出自粛等による乗客減少で深刻な危機に陥る
- 最近では観光需要が回復する一方、
運転士不足等の問題が各地で表面化
⇒生活バスを運行する鎌ヶ谷観光バスでも
決して例外ではない。

2. コロナ禍以降の動向と直面する課題

コロナ禍が鎌ヶ谷観光バスにもたらした影響

- ・ 2020年以降、生活バス利用者が一時期3割程度減少
- ・ それに加え**観光需要の消失**が事業全体に打撃となる。

路線バス（生活バス）の若干の赤字を
本業の観光バス（貸切バス）の収益で補う
ビジネスモデルがコロナ禍で成立しなくなる

2. コロナ禍以降の動向と直面する課題

コロナ禍での窮状の打開策

- 「友の会」が地域で寄付活動や回数券の購入等呼びかけ
- クラウドファンディングを企画、実施
(支援総額 659,650円 目標の21%)

⇒総額で約200万円超の
支援金が集まり、その後の
緩やかな乗客回復もあって
当面の危機は回避

《写真出典》生活バスちばにう・
クラウドファンディングホームページより
(<https://camp-fire.jp/projects/view/296170>)



2. コロナ禍以降の動向と直面する課題

鎌ヶ谷観光バスのコロナ禍への対応

- 運転士を一切解雇せず、
人財を重視して雇用を守り通す姿勢を貫徹
⇒ 運転士の確保は難しい状況ながらも
深刻な影響には至っていない。
いわゆる「2024年問題」（運転士の残業規制の
強化）にも対応の準備はできている。

2. コロナ禍以降の動向と直面する課題

最近の観光需要の回復による影響

- ・ 鎌ヶ谷観光バスとしては経営安定化のためにも、重要な収益部門である観光バスに優先的に人員を割り当てることが必要

⇒2023年 1 月以降、生活バスは**平日も土日祝ダイヤ**に移行

※現在まで北環状線のための運行が続く
(直行便・牧の原線は実質休止)



時刻	平日	土・日・祝
5	59	
6	50	
7	35*	
8	40*	
9	40*	
10	40*	
11	40*	
12		
13		
14	30*	
15	50*	
16		
17	00*	
18	10*	
19	00*	
20	10*	

鎌ヶ谷観光バス・生活バスは、
20:00 まで
土・日・祝の直行便は運行していません。
交通状況により遅れる場合がございます。
鎌ヶ谷観光バス株式会社 047-401-8822

2. コロナ禍以降の動向と直面する課題

生活バスをとりまく現状

- ・ 2023年10月、ちばレインボーバス「北総循環線」
（北環状線とほぼ同一経路）が実質撤退
※路線権維持のための一日1往復に縮小

⇒生活バスには乗客増という“追い風”になり、
直近での一日利用者数は300～400人
程度で推移（12月26日の調査では377人）

2. コロナ禍以降の動向と直面する課題

生活バスをとりまく課題

- ・ 一方で、運転士の確保や観光バス部門との兼ね合い以外にも、**燃料費の高騰**や**車両の老朽化対応**など課題は山積
(購入後7～10年経過し不具合も増加)

⇒今後の動向は予断を許さないのも確か

3. 次の段階に向けての提言

中小・独立系の乗合バス事業者の窮状

- ・ コロナ禍以降、都市近郊の中小・独立系の乗合バス事業者が相次いで窮地に陥る

(例) 埼玉県上尾市の「丸建自動車」

⇒ 2020年経営破綻、つばさ観光バスに事業譲渡
大阪府富田林市の「金剛自動車」

⇒ 2023年12月に全路線廃止・事業終了
東京都東村山市の「銀河鉄道」

⇒ コロナ禍で猶予されてきた融資の返済や税・社会保険料の負担増等で資金難に陥り、貸切バスを一部売却

(「東京新聞」2024年1月2日配信記事・<https://www.tokyo-np.co.jp/article/299127>)

3. 次の段階に向けての提言

中小・独立系の乗合バス事業者への支援の必要性

- 中小・独立系の乗合バス事業者の厳しい状況は、鎌ヶ谷観光バスも決して無縁ではない。
⇒ コロナ禍も体を張って生活交通インフラを支えてきた各地の中小・独立系の乗合バス事業者へ、
公的支援の充実や負担減・猶予等の配慮を
国や自治体などの行政に求めたい。



3. 次の段階に向けての提言

沿線地域や「友の会」に求められること（1）

- 今までとは違ったアプローチなどを通じて、増客・増収への新たな取り組みや、存続に向けた「覚悟」が求められる。
 - 住民には生活バスの存続危機を「わがごと」（自分たちの問題）と受け止める意識とともに、まさに“今”機会を見つけて“乗る”という積極的・直接的な行動が望まれる。
- 
- 
- 
- 

3. 次の段階に向けての提言

沿線地域や「友の会」に求められること（2）

- ・ 乗客増以外での増収策や応援策の工夫の必要性
⇒決して募金など見返りのない形ではなく、戦略的・多面的に増収のチャンスを見出す発想が重要

（例）地元の企業・商店等を対象としたサポーターの募集や
広告収入・スポンサーの確保、
記念乗車券をはじめとする企画商品の発売 など





-完-

ご清聴ありがとうございました。

・ご質問、お問い合わせ等は下記までお願いします。

ka74427@ya2.so-net.ne.jp (前田 善弘)